



平成 25 年 8 月 1 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 免 疫 生 物 研 究 所
(コード番号：4570)
本店所在地 群馬県藤岡市中字東田 1091 番地 1
代 表 者 代 表 取 締 役 社 長 清 藤 勉
問 合 せ 先 取 締 役 診 断 ・ 試 薬 事 業 部 長 木 下 憲 明
電 話 番 号 0274-22-2889 (代表)
U R L <http://www.ibl-japan.co.jp>

弾性線維形成タンパク質の Fibulin-5/DANCE 測定キット 新製品の販売開始について

当社は、皮膚のたるみなどに係わる弾性線維形成に必須なタンパク質である、Fibulin-5/DANCE（以下「DANCE」という）の血中濃度を測定するキットを、本日付で新製品として販売を開始いたしますのでお知らせいたします。

【概要】

DANCE (developmental arteries and neural crest EGF-like)タンパク質は、発生期の動脈に強く発現する分泌性タンパク質として、関西医科大学医学部薬理学講座、中邨智之教授らによって新たに発見され、名付けられました。後に別名 **Fibulin-5** とも呼ばれるようになりました。

実験的に作製された DANCE タンパク質を発現しないマウスでは、皮膚のたるみ、肺の気腫化、動脈の蛇行など、全身の弾性線維の形成不全に伴う、ヒトの老化に似た表現型が観察されたため、DANCE が弾性線維の形成に必須のタンパク質であることが示唆されています。

弾性線維は、肺・動脈・皮膚等の伸縮性組織に富む、組織の弾性を担う細胞外線維であり、その分解・劣化は、組織の弾性の喪失を引き起こし、多くの老化関連疾患の直接原因となることが考えられます。このように、生体内の DANCE タンパク質の濃度の測定は、今後ヒトの老化における弾性線維の分子機構に関する研究や、老化に似た疾患の原因解明に有効利用できると思われれます。

なお、当製品の開発は、学校法人 関西医科大学と株式会社エヌビー健康研究所によって行われ、当社が独占的に製造及び販売を行います。

【製品情報】

1. 販売開始予定日： 2013 年（平成 25 年）8 月 1 日（木）
2. 製品概要：

製品番号	製品名	規格	価格	保存方法
27121	Human Fibulin-5/DANCE Assay Kit - IBL	96 Well (40 検体分)	¥ 98,000	2~8℃

3. 使用目的：ヒトの EDTA 血漿中、および培養上清中の Fibulin-5/DANCE タンパク質の定量用

以上